

令和5年度教育活動に対する学校関係者評価書

令和6年2月15日

学校法人 若葉学園 静岡若葉幼稚園長 若林啓介

学校法人 若葉学園 静岡若葉幼稚園 学校関係者評価委員会長 花村政雄

1. 幼稚園の教育目標

友だちと協力して意欲的に行動できる子、思いやりのある子

2. 本年度重点的に取り組む目標、計画

一人ひとりの幼児を大切にされた教育の実践を目指す

3. 自己評価とそれに対する学校関係者評価結果

- A (十分達成されている)
- B (達成されている)
- C (取り組まれているが成果が十分でない)
- D (取り組みが不十分である)

4. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	評価点	理由
幼稚園経営全体について	A	幼稚園の教育方針や情報をわかりやすく伝えているか
	A	教職員は協力し合って園児の指導にあたっているか
	B	教職員は電話や来園者に対し誠実な対応をしているか
	B	幼稚園の環境は園児が、安全・快適な生活をするのに適しているか
	B	幼稚園は特色ある教育活動の実践に努力しているか
保育の様子	A	園児は意欲的に遊びや活動に参加しているか
	A	教職員は園児との対話を大切にし、幼児と一緒に考え、創り出す保育を心掛けているか
	A	幼稚園は生命を尊重する心や社会性のルールを守る指導をしているか
	B	指導を要する園児に対し配慮がされているか
	B	教職員は園児の模範となる言動をとっているか
保護者、地域との連携	B	教職員は保護者からの相談等に誠実に対応しているか
	B	地域の人や保護者は親しみやすい幼稚園と感じているか
	A	幼稚園は地域の人材、施設、自然等を教育活動に活用しているか
	A	子どもの安全指導について地域や保護者の協力を得ているか
	A	保護者は幼稚園の行事や教育活動に積極的に参加しているか

評価項目	具体的な取り組み	評価点	取り組み状況と反省
身体づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・がんばりカードの作成 ・サーキット、縄跳び、鍵盤ハーモニカを頑張る 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・がんばりカードをクリアしようと子どもたちが意欲的に取り組んでいた ・仲間同士、教えあう姿もよく見られた
防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月行う避難消火訓練の実施 ・引き渡し訓練 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・予め決められた時間に保護者が迎えに来たが、実際に起こった場合、自宅や職場から相当の時間差が生じてくるだろう
幼児と乳児の交流	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス単位で交流し、親しみを持つ ・一緒に歌ったり手遊びを楽しむ 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・触れあうことで親しが増し、年少者を労わろうとする
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭開放を重点に在園児との交流を図る 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回5組から10組の親子が来園し楽しんでいった。 ・固定遊具は在園児に合わせているので安全面で検討の必要を感じる

学校関係者評価委員会の評価

- ・保育参観では各教室が整理整頓され、清潔感がある中で園児たちが楽しそうに作品作りに励んでいた。
- ・乳児と幼児の交流については先生方の経験を生かした交流と各家庭ではできない園児同士の交流を通して学びを深める努力を感じた。
- ・防災の取り組みについては教室内での安全確保と合わせ災害時におけるパニック対応や引き渡しなどについて防災訓練を通じた問題点解消への取り組みが見受けられた。
- ・どのクラスも落ち着いて活動している姿が印象的だった。数日前に催した作品展は年代ごとに工夫が見られ、日々の活動にしっかりと取り組まれていることがうかがえた。
- ・がんばりカードの取り組みを進めていくことで仲間同士協力して目標達成に臨む様子を知ることができたことは評価される。
- ・がんばりカードの取り組みは継続させることと心理的な効果もあり非常に良いと感じた。
- ・作品作りは季節を表現したり、アートの作品の他、学習的な要素の取り組みも見受けられなにより園児たちのかわいい学びの姿を見られた。
- ・防災訓練は毎月、絵本やニュースを簡単な言葉で伝えるなど災害の意識を高めることが命を守ることに繋がる。引き渡し訓練など保護者の協力を得ながら今後も続けてほしい。

今後の改善策(学校関係者評価を受けて)

- ・子どもたちが意欲的に取り組めるよう今後も課題を検討し挑戦する気持ちを育てたい。
- ・防災への取り組みはいろいろな場を想定し命を守る訓練が安全確保につながるようにしたい。保育中における災害はパニック対応と園児引き渡しが課題と思われる。今後も取り組んでいきたい。
- ・幼児と乳児の交流は親しみが増すことで心情が培われ仲よしの輪が広がっている。職員間も理解を深めることで保育の質的な向上を高める努力をしたい。